

# 海外語学研修（台湾） 報告書

医療科学部 放射線技術学科 1回生 大倉 千晶

8月14日から20日まで、台湾の元培大学サマースクールに参加しました。もともと台湾という国に興

味があったこと、外国人の友達を作ることで見聞を広めること、そして外国の医療現場について知りたいと思ったことが、今回のサマースクールに参加しようと思ったきっかけでした。

今回のサマースクールでは、普通の観光旅行では体験できなかったであろうたくさんのことを体験できたことが、大きな収穫でした。その貴重な体験の数々を紹介します。



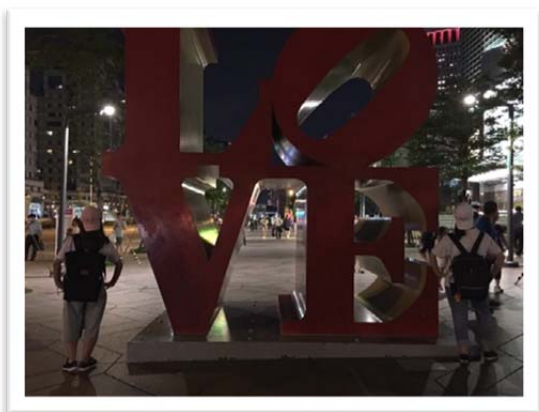
まず、一番貴重だと感じたのは、現地に住んでいる学生さんとの交流でした。元培医事科技大学の学生さんとはとにかくフレンドリーで優しい人たちでした。台湾に着くまでは言葉の異なる学生さんとどのようにコミュニケーションをとればよいのか、またどんな学生さんがいるのか不安でいっぱいでしたが、実際に会うと、そんな不安はすぐに解消されま

した。きちんと目線を合わせて、聞き取りやすい流暢な英語でゆっくりと話してくれました。また、私たちの片言の英語にもきっちり耳を傾けてくれて、言いたいことをちゃんと聞き取ってくれました。元培大学の学生さんは日本が大好きだと言っていて、お互いに沢山の母国語を教え合いました。そのおかげもあってか、最初は英語だけでやりとりしていたのに最終日に近づくにつれて、英語と中国語と日本語の混ざりあった三種類の言語を自然と使いながらコミュニケーションをとるようになっていました。

また、今回のサマースクールでは、現地の病院を訪れる機会がありました。台北市内でも最大級であろう病院を訪れ、実際に働く技師さんやスタッフさんからお話を聞くことができたのは、とても貴重な経験です。病院のスタッフさんたちは、私たちの素朴な疑問にも一つひとつ丁寧に回答してくださりました。また、病院内の施設を紹介してもらったときも「みなさんの家のようにリラックスして、病院見学を楽しんでください」とおっしゃってくださり、緊張することなく病院を見学することができました。台湾の病院は、提供する医療の品質を高めるために、常に新たな制度を取り入れて進歩しています。先進国である日本の医療と変わらな



い高レベルの医療を提供しているということを知り、驚くとともに感銘を受けました。



今回のサマースクールでは、元培医事科技大学の学生さんや先生方、そして見学させていただいた病院のスタッフさんなど、沢山の方のおかげで貴重な体験をすることができました。この体験は一生の宝です。台湾の人々の優しさに触れれば触れるほど、日本ばかりにとどまっているのはもったいないという気持ちになりました。これからも自分の視野を広げていき、国際人としても活躍できるような人物になりたいと強く思いました。